

# 東京都道徳教育郷土資料集の活用に向けて

首都東京の子供たちに郷土や国に対する愛着や誇りをはぐくむため、道徳の時間に活用できる東京を題材とした読み物資料集を作成しました。

## — 東京都全域から素材を集めました —

- 四つの視点すべてが盛り込まれている内容構成になっています。
- すべての資料に展開例が掲載されています。
- 各学校に配布されたCD-ROM版も活用してください。

### 第1集

#### 小学校低学年

とうふやハベえ【1-(4)】(文京区)  
 たま川の夕日【2-(2)】(世田谷区)  
 やまめのやまちゃん【3-(1)】(青梅市)  
 かつぱと与助【3-(2)】(北区)  
 たのしい一日【4-(2)】(日野市)

#### 小学校中学年

人力車【1-(3)】(港区)  
 花と緑のまち【2-(4)】(調布市)  
 三河島のつる【3-(1)】(荒川区)  
 わらじぞう【3-(2)】(世田谷区)  
 ぼくたちの多摩川【4-(5)】(調布市)

#### 小学校高学年

岩淵水門【1-(2)】(北区)  
 心の通い合い【2-(2)】(大島町、品川区)  
 大賀博士を支えた人々【2-(5)】(府中市)  
 天然痘とたたかう【3-(2)】(武蔵村山市)  
 マネージャー【4-(1)】(中野区)

#### 中学校

苦い映画の思い出【1-(3)】(葛飾区)  
 車人形【2-(1)】(八王子市)  
 焼けた空【3-(2)】(江東区)  
 甘い小松菜【4-(2)】(江戸川区)  
 御蔵島の心【4-(8)】(御蔵島村)

### 第2集

#### 小学校低学年

たかおの山のでんぐ【1-(3)】(八王子市)  
 あいさつ通り【2-(1)】(国分寺市)  
 ようこそ はな子さん【3-(1)】(武蔵野市)  
 うえの先生と ハチ【3-(3)】(渋谷区)  
 おじぞうさま【4-(2)】(豊島区)

#### 小学校中学年

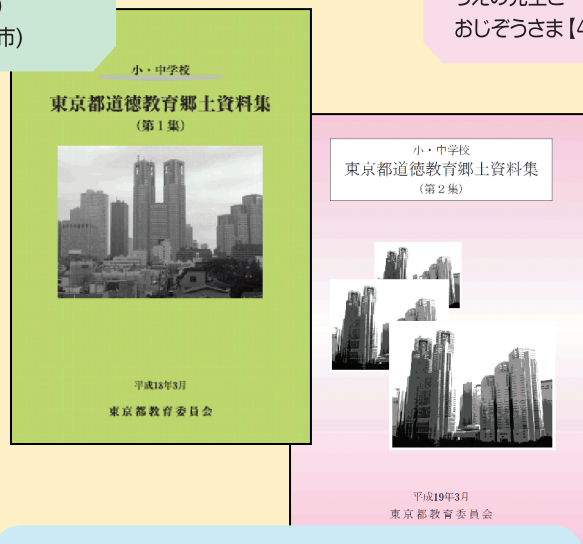
玉川上水と玉川兄弟【1-(3)】(羽村市)  
 全校遠足とカワセミ【2-(3)】(杉並区)  
 野鳥のすむ水辺【3-(1)】(奥多摩町)  
 日曜日のパーベキュー【4-(1)】(あきる野市)  
 くじら祭【4-(5)】(昭島市)

#### 小学校高学年

波浮のお池【1-(2)】(大島町)  
 心にふく風【2-(1)】(千代田区)  
 半助の投あみ【2-(4)】(調布市)  
 あの感動を伝えたい【3-(3)】(八王子市)  
 一夕焼け小焼け 中村雨紅一  
 江戸深川【4-(4)】(江東区)

#### 中学校

トラベリングとロ玉の山【1-(4)】(江戸川区)  
 「江戸しぐさ」を考える  
 一めぐりに乗ってー【2-(1)】(台東区)  
 小さな工場の大きな仕事【4-(5)】(大田区)  
 海苔の町ー大森ー【4-(8)】(大田区)  
 麗しの歌舞伎座【4-(9)】(中央区)



第1集・第2集を合わせて  
 40点の読み物資料が掲載されています。

## 実践例 〈小学校〉

### 資料名「マネージャー」 主題名「役割と責任の自覚」〈内容項目4-(1)〉(第1集 高学年用)

須崎君は甲子園を目指して野球部に入部したが、2年生に進級する直前、監督からマネージャーになるように頼まれる。須崎君はチームのためにマネージャーとしてがんばることを決意する。高校生活最後の大会、あと一步というところで甲子園の夢は消えてしまったが、試合の後の胴上げで、一番初めに宙を舞ったのは、マネージャーの須崎君だった。

ねらい：身近な集団の中で、自分の役割を自覚し、責任を果たそうとする心情を育てる。

導入 ◆ 高校野球の様子をビデオで見る。→ [学習指導過程を考える。]

展開 ◆ 資料を読み、須崎君の気持ちについて話し合う。→ [児童の感じ方、考え方を予想し、主な発問を考える。]

登場人物に  
共感させる  
発問の工夫

須崎くんは、どのような気持ちをもちながらマネージャーの仕事をやってきたのか。

・みんなのために  
がんばる。

・うらやましい。

・悔しい。



多様な感じ  
方、考え方を  
引き出す  
発問の工夫

須崎くんの心の中は、前向きな気持ちだけだったのか。

どうしてそのような気持ちをもったのだろうか。

・みんなといっしょ  
に練習したい。

・試合に出て活躍  
したい。

道徳的価値  
の理解につ  
なげる発問  
の工夫

なぜ、須崎くんは一日も休まなかったのだろうか。

・チームのことを  
考えていたから。

・みんなにがんばっ  
てほしいから。

うらやましい気持ち、悔しい気持ちを心のどこかにもちながらも、その気持ち乗り越えて、須崎くんはマネージャーの役割を果たそうと最後までがんばったんだね。



◆ 役割と責任の自覚を視点に、自分の生活を振り返って話し合う。

終末 ◆ 「心のノート」のメッセージを提示し、本時のまとめとする。

[板書計画を立てる。]

### 資料名「うえの先生とハチ」 主題名「敬けん」〈内容項目3-(3)〉(第2集 低学年用)

渋谷駅前にある忠犬ハチ公にまつわる話である。上野先生はハチを自分の子供のようにかわいがるが、急逝してしまう。ハチは毎日、先生が帰ってくる時間になると渋谷駅に向かう。そして、先生の帰りをいつまでも待ち続けた。

ねらい：美しさや清らかさにふれて感動する心を育てる。

導入 ◆ ハチ公像を紹介し、資料へ興味をもたせる。→ [学習指導過程を考える。]



展開 ◆ 資料を読んで話し合う。→ [児童の感じ方、考え方を予想し、主な発問を考える。]

資料への感  
動を大切に  
した発問の  
工夫

どこが心に残りましたか。

・先生が亡くなったところ。・ハチが先生をずっと待ち続けるところ。

道徳的価値  
の理解につ  
なげる発問  
の工夫

どうして先生が亡くなったところに  
心が動いたのでしょね。

・先生が大好き  
だったから。

・先生はお母さんみたいだったから。

駅で先生を待ち続けるハチは  
どんな気持ちだったのでしょうか。

・さびしいよ、先生に会いたいよ。・なぜ帰ってこないの？  
先生どうしたの？

◆ 美しさや清らかさにふれた感動を視点に、自分の生活を振り返る。

終末 ◆ 教師の説話を聞く。

## 実践例〈中学校〉

資料名「小さな工場の大きな仕事」 主題名「勤労の意義」〈内容項目4－(5)〉(第2集 中学校用)

「ぼく」の家は、町工場を営んでいる。「ぼく」は、職業について収入や「かっこよさ」を基準に考えていたが、職場体験や職人として誇りをもって働く父、そして父と共に働く兄の姿にふれ、働くことや職業について考えが変わっていく。

ねらい：勤労の尊さや意義を理解し、勤労を通して社会に貢献しようとする態度を養う。

導入 ◆ 職業に関するアンケートの結果を見る。→ [学習指導過程を考える。]

展開 ◆ 資料を読み、登場人物について話し合う。→ [生徒の感じ方、考え方を予想し、主な発問を考える。]

登場人物の  
感じ方、考  
え方の追求  
につながる  
発問の工夫

「ぼく」は、どんな気持ちで  
職場体験に参加したのだろうか。

・かっこよさそう。・家の工場と比べて、大きなビルの会社にあこがれている。

兄は、どんな気持ちで工場で  
働いているのだろうか。

・父のように世の中の役に立つ仕事  
がしたい。その技術を残したい。

・この工場はどこよりもすごいんだ。  
この工場で働くことが誇りなのだ。

◆ 勤労の意義を視点に、自分の生活を振り返る。→ [効果的な指導の工夫をする。]

今までの自  
分自身につ  
いて考える  
活動の工夫

自校での職場体験のスライドを  
見て働くことについて考える。

職場体験のできごとや  
感じたことを想起させる。



終末 ◆ 自分の課題を見いだす。→ [学習指導過程を考える。]

道徳的価値  
の自覚につ  
なげる活動  
の工夫

友達の感想を聞き、働くことや職業の意義につ  
いて考え、自分の課題を見いだす。

ワークシートより

・どんな仕事でも社会につながっていると強く感じ  
ました。わたしも社会のために、自分にぴったりの  
仕事につきたいです。

資料名「苦い映画の思い出」 主題名「誠実」〈内容項目1－(3)〉(第1集 中学校用)

正雄は、母親から、日曜日に地域の防災訓練に参加し、お世話になった佐藤さんの車いすを押すように頼まれるが、断つてしまう。友達と映画に行く約束を優先したからだ。しかし、正雄は映画が始まってもなかなか集中できなかった。

ねらい：自分の行為が及ぼす結果について深く考え、その行為の結果に責任をもつ態度を育てる。

導入 ◆ つい意地を張ってしまった経験を発表する。→ [学習指導過程を考える。]

展開 ◆ 資料を読み、正雄の気持ちを中心に考える。→ [生徒の感じ方、考え方を予想し、主な発問を考える。]

登場人物の  
感じ方、考  
え方の追求  
につながる  
発問の工夫

夕食の途中で部屋に引きこもってしまった  
正雄の気持ちはどんなだったか。

・勝手なことを言って、自分にだって  
都合があるのだ。  
・素直になれない。

「関係ないよ。」といったときの正雄の  
気持ちはどんなだったか。

・誰かがやってくれるだろう。  
・素直に言えない自分がいやに  
なっていた。



道徳的価値  
の理解につ  
なげる発問  
の工夫

映画に集中できなかったときの正雄の  
心の中はどんなだったか。

・申し訳ない気持ちでいっぱいになっていた。  
素直な気持ちで謝りに行こうと決意していた。

◆ 自分の行為の結果に責任をもつことを視点に、自分の生活を振り返って話し合う。

終末 ◆ 心のノート34、35ページを読み、終末とする。



# 授業づくりの手順

## (1) ねらいを検討する。

年間指導計画に示された主題名とねらいを確認し、指導の内容や教師の指導の意図を明らかにする。

## (2) 資料を選定し活用する。

ア 望ましい資料とは

- (ア) 人間尊重の精神にかなう資料
- (イ) 多様な価値観が引き出され深く考えることができる資料
- (イ) ねらいを達成するのにふさわしい資料
- (ロ) 特定の価値観に偏しない中正な資料 など
- (ウ) 児童・生徒の興味や関心、発達に応じた資料

イ 郷土資料提示の工夫例

- (ア) 資料の題材となっている地域・場所についての写真や映像資料を用意する。
- (イ) 展開では、資料の題材となっている特定の地域のみでなく、児童・生徒が在住する場所においても登場人物に共感できるように発問などの工夫をする。

## (3) 児童・生徒の感じ方、考え方を予想し、主な発問を考える。

- ア 児童・生徒の実態と資料の特質に応じた発問構成を工夫する。
- イ 児童・生徒が体験を通して感じたことや考えたことを想起させる。
- ウ 児童・生徒が資料に描かれた道徳的価値を自分の問題として受け止める。

## (4) 学習指導過程を考える。

- ア 授業の流れの中心となる展開について考える。
- イ 今後の発展につながる終末について考える。
- イ 発問を考える。
- ロ 児童・生徒一人一人を生かすように発問を工夫する。
- ウ 効果的な導入の工夫について考える。
- カ 体験活動や各教科等の指導との関連を図る。

### 導入

主題に対する興味・関心や学習への課題をもつことを通して、授業への意欲を高める。



### 展開

読み物資料を活用した話し合いや自分自身を見つめることを通して、ねらいとする道徳的価値への自覚を深める。



### 終末

話し合ったことや道徳的価値に対する思いや考えを書き表すなどして、今後の自らの生き方につなげる。

## (5) 板書計画を立てる。

- ア 1時間の授業の内容が分かりやすいように構造的な板書をする。
- イ 発問カードや写真・絵等を用いて授業への参加意欲や雰囲気を高める。



## (6) 効果的な指導の工夫をする。

- ア 事前・事後指導の工夫
- イ 地域の人材等の活用
- (ア) 日常生活体験や他の学習での体験活動を生かす。
- (イ) 地域の人を招き協力しながら展開する。
- (イ) 事前の実態把握と事後の個別的な指導に努める。
- (ロ) 家庭や地域への取材を活用する。

## (7) 評価を工夫する。

- ア 道徳の時間の評価は、その指導によって児童・生徒の道徳性がどのように変容したか、どのようにその時間のねらいに迫ることができたかについて把握し、次の時間の指導に生かすためのものである。
- イ 道徳性は人格の全体にかかわるものであり、数値などによって評価しない。